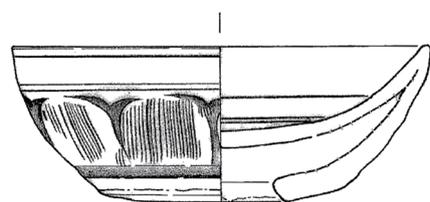


令和3(2021)年度

# 福岡市埋蔵文化財センター一年報

第41号



2023

福岡市教育委員会

## 序

アジアに向けて開かれた福岡市は、古来より対外交流の拠点として歴史的に重要な位置を占めてきました。市内にはこのことを示す数多くの遺跡が残されています。

そのため、市内では数多くの発掘調査が行われており、出土した膨大な遺物や記録類を適切に保存、収蔵、管理し、また活用していくため、福岡市埋蔵文化財センターは昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、施設の充実に努めてまいりました。さらに、平成28年3月には増加する収蔵資料の保管場所として新たに月隈収蔵庫を取得し、埋蔵文化財の適切な保管と活用に一層努めています。

さて、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、約90日間臨時休館を余儀なくされ、さらに10回の考古学講座のうち、2回を中止いたしました。しかし、コロナ禍の中、感染予防策を講じた上で、「収蔵庫暗闇ツアー」や小学校を対象とした出前授業、講座テーマに沿った企画展示を開催するとともに、出土品の保存処理や貸し出し、閲覧なども適切に行いました。

今後もますます当センターの利用が図られ、埋蔵文化財の活用や保護に向けた意識が高まることを切に願います。

令和5年2月10日

福岡市教育委員会  
教育長 石橋 正信

## 目次

I 埋蔵文化財センターの概要	
1. 組織と職員	1
2. 施設	1
3. 令和3年度予算及び決算	3
4. 令和3年度入館者数	3
II 令和3年度の活動	
1. 石ヶ元古墳群出土鍛冶工具のレプリカ製作	4
2. 資料の収蔵・整理	5
3. 教育普及	6
4. 保存処理	11
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	
付2 令和3年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報報告一覧	

## 例言

1. 本書は令和3年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の執筆は、II-2およびII-3(2)を久住猛雄、II-3(1)、(3)～(8)を板倉有大、II-4を清金良太・藤崎彩乃、その他を上角智希が担当し、編集は上角が行った。

\*表紙写真：博多遺跡群第229次調査出土双層碗・口径16.3cm（令和3年度収蔵）

# I 埋蔵文化財センターの概要

## 1. 組織と職員

### (1) 福岡市文化財行政の組織

平成 24 年度の機構改革で、文化財部は経済観光文化局へ移管し、埋蔵文化財センターは所長のみ教育委員会と兼務となった。

#### 文化財活用部の組織

文化財活用課	管理調整係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化財施設の管理
	調査普及係	文化財保護審議会、文化財の調査、普及事業
	歴史資源活用係	文化財・歴史資源の活用推進、文化財保存活用地域計画
史跡整備活用課	福岡城跡整備係	福岡城跡の調査・整備、課の庶務、福岡みんなの城基金
	鴻臚館跡整備係	鴻臚館跡の調査・整備
	史跡整備活用係	史跡の保存・整備・活用
埋蔵文化財課	事前審査係	公共及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の事前調整及び周知
	調査第 1 係	主に東部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、課の庶務
	調査第 2 係	主に西部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、課の庶務
埋蔵文化財センター	運営係	埋蔵文化財の収蔵・保管・展示等、教育普及
	保存分析係	埋蔵文化財の保存・分析

### (2) 埋蔵文化財センターの職員（令和 3 年度）

所長 榎本 義嗣	運営係長 中山 貴	文化財主事 板倉 有大	会計年度任用職員 佐々木 蘭貞 (文化財教育普及専門員) 藤崎 彩乃 (保存処理指導員) ほか出土品整理等担当 7名
	保存分析係長 上角 智希	文化財主事 服部 瑞輝	

## 2. 施設

当センターは福岡市博多区井相田 2 丁目 1-94 に所在し、敷地面積 4,000㎡、鉄筋コンクリート造 3 階建（建築面積 1,050㎡、延床面積 1,992㎡）の規模で昭和 57 年 2 月に開館した。その後、昭和 61 年 3 月に収蔵庫を主とした増築（増築面積 1,035㎡、増延床面積 1,994㎡）を行った。さらに平成 9 年度から大規模な増築・改造を実施し、平成 11 年 4 月にリニューアルオープンの運びとなった。現在、敷地面積 7,481 ㎡、建築面積 3,987㎡、延床面積 10,713㎡の施設規模である。

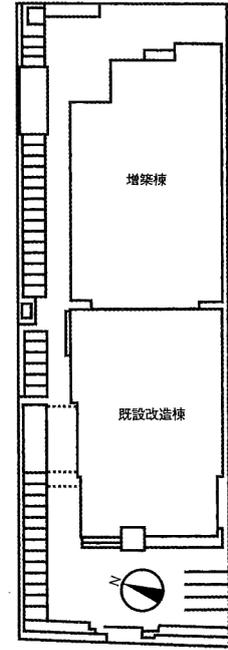
また、平成 28 年 3 月に取得した月隈収蔵庫（福岡市博多区月隈 1 丁目 13-17）は、敷地面積 24,974.68㎡、建築面積 8,347.93㎡、延床面積 8,639.47㎡である。

ホームページ（<https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html>）には施設の概要のほか、前年度の事業実績、年度毎の保存処理資料の紹介、収蔵遺物、展示品、講座案内などを掲載している。

主な施設

施設区分	室名	床面積 (㎡)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

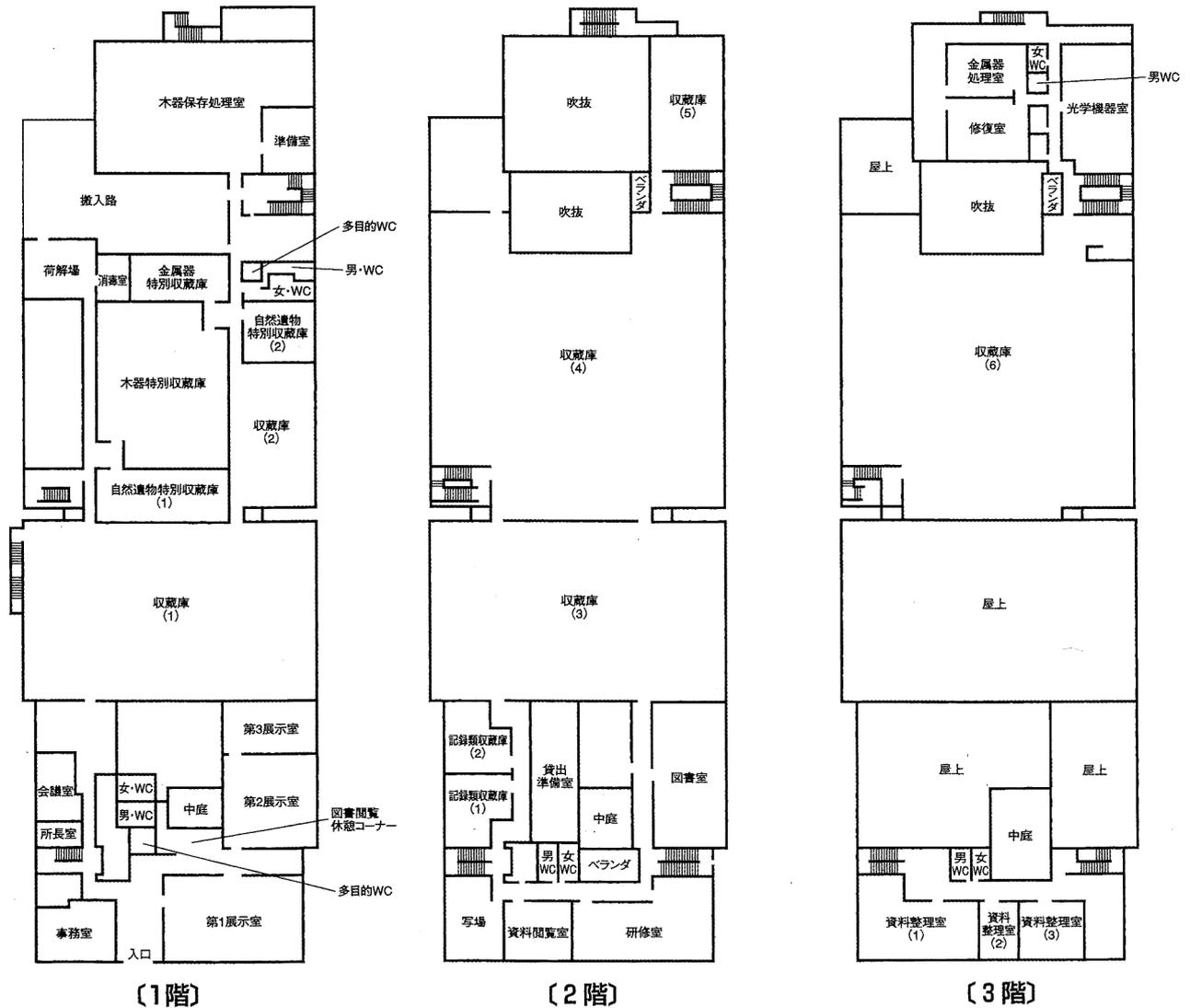
施設区分	室名	床面積 (㎡)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室(光学機器室)	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
その他	庇・トラックヤード等	505.00
	計	10,713.00



建物配置図 ▶

正面入口

▼ 施設平面図



### 3. 令和3年度予算及び決算

(1) 歳入 (千円)

	計	国庫補助金	使用料及び手数料	諸収入	市債
当初予算	47,226	10,359	808	59	36,000
決算	8,758	8,656	69	33	0

(2) 歳出 (千円)

	計	管理運営費	事業費
当初予算	158,836	78,565	80,271
決算	92,535	64,719	27,816

※決算減の理由は月限収蔵庫改修工事の繰越しによる

### 4. 令和3年度入館者数

(1) 月別入館者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率 (%)	
日数	26	26	26	27	27	25	27	26	23	23	24	27	307		
個人	一般	163	115	129	139	94	91	236	288	204	131	180	234	2,004	90.4%
	小学生	5	3	6	12	5	0	4	8	2	3	2	1	51	2.3%
	中学生	0	1	1	2	1	0	2	1	0	2	0	0	10	0.5%
	高校生	1	2	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	8	0.4%
	大学生	5	4	2	8	46	0	13	13	13	10	3	5	122	5.5%
	その他	2	3	0	0	2	0	2	7	3	4	0	0	23	1.0%
	小計	13	13	9	24	56	0	22	29	18	19	5	6	214	9.6%
	合計(a)	176	128	138	163	150	91	258	317	222	150	185	240	2,218	100.0%
	団体	一般	3	12	45	0	48	0	77	82	61	56	56	490	86.4%
		(団体数)	1	2	1	0	1	0	5	4	3	1	3	24	
小学生		0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	38	6.7%	
(団体数)		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
中学生		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
(団体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高校生		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
(団体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
大学生		0	0	0	0	0	0	10	9	0	20	0	0	39	6.9%
(団体数)		0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	0	6	
合計(b)	3	12	45	0	48	0	87	129	61	76	50	56	567	100.0%	
(団体数計)	1	2	1	0	1	0	7	7	3	5	1	3	31		
総計(a+b)	179	140	183	163	198	91	345	446	283	226	235	296	2,785		
1日平均(人)	7	5	7	6	7	4	13	17	12	10	10	11	9		
出前授業(人)	0	2	384	330	0	112	656	465	423	153	0	0	2,525		
(学校数)	0	1	4	5	0	1	6	6	6	3	0	0	32		

※新型コロナウイルス感染症防止のため以下の期間を臨時休館とした。5月12日～6月20日、8月9日～9月30日

(2) 個人入館者年齢区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率 (%)
0～19才	11	11	7	19	10	0	11	17	5	9	2	2	104	4.7%
20～29才	11	7	12	15	50	11	33	26	34	22	11	20	252	11.4%
30～39才	18	19	29	20	14	21	37	36	26	24	20	22	286	12.9%
40～49才	46	25	29	27	30	31	73	87	71	28	46	65	558	25.2%
50～59才	49	39	39	40	26	22	42	74	47	28	41	60	507	22.9%
60～69才	19	19	17	20	11	5	32	45	25	23	42	48	306	13.8%
70～79才	21	8	4	18	9	0	26	30	13	16	20	19	184	8.3%
80才以上	1	0	1	4	0	1	4	2	1	0	3	4	21	0.9%
計	176	128	138	163	150	91	258	317	222	150	185	240	2,218	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率 (%)
福岡市	131	102	117	110	123	77	177	198	171	105	139	168	1,618	72.9%
福岡県内	36	19	14	36	23	6	54	51	26	26	31	40	362	16.3%
県外	9	7	7	17	4	8	27	65	25	19	15	32	235	10.6%
国外	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0.1%
計	176	128	138	163	150	91	258	317	222	150	185	240	2,218	100.0%

(4) 過去5年間の月別入館者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
平成29年度	303	329	710	551	589	488	363	396	382	423	451	515	5,500
平成30年度	225	704	535	428	575	424	519	455	401	301	337	421	5,325
平成31・令和元年度	205	639	578	479	401	382	462	351	427	292	231	100	4,547
令和2年度	7	76	154	232	350	173	247	287	262	300	230	231	2,549
令和3年度	179	140	183	163	198	91	345	446	283	226	235	296	2,785

開館以降累計入館者数(人) 400,066

## II 令和3年度の活動

### 1. 石ヶ元古墳群出土鍛冶工具のレプリカ製作

近年、福岡市から出土した2件の考古資料が相次いで国重要文化財の指定を受けた。平成29年9月15日指定の福岡県博多遺跡群出土品計2,138点と、令和元年7月23日指定の金錯銘大刀（通称：庚寅こういん銘大刀）一口・附287点である。これらの重要遺物を市民に広く周知するために、公開・活用事業を実施している。

#### ● 桑原石ヶ元古墳群出土鍛冶工具複製品の製作

令和3年度は、庚寅銘大刀と同じ元岡・桑原遺跡群のなかに位置する石ヶ元古墳群12号墳から出土した鉄床かなとこと鉄鉗かなはしのレプリカを製作した。鉄床は高さ11cm、重量約3,460gの完形品である。鉄鉗は長さ37.2cmを測る。とくに鉄床はずっしりと重く内部は錆びずに光沢のあるメタルがしっかりと残存していると思われる。アクリル樹脂塗布などの保存処理作業をしているものの、空気に触れたり、温湿度の変化にさらされたりすると、資料内部に残存するメタルが酸化し、再び激しく劣化が進むリスクが高い。そのため、しばしば貸出や資料閲覧のリクエストを受ける重要資料であるものの、温湿度を一定に管理した特別収蔵庫内で厳重に保管しており、安易に展示や貸出等ができない状況にある。

今回のようにレプリカを製作することで、実物資料の展示・貸出が困難な資料についても、レプリカの展示・貸出ができるようになり、市民の方々に貴重な考古資料を見ていただくことができることが大きなメリットである。

レプリカの製作作業は、①型取り→②樹脂成型品の製作→③仕上げ作業→④彩色と進めた。

①型取り：実物資料の表面を錫箔で覆い保護した後、資料に液状のシリコンを塗布し硬化させ、ゴム膜状の型を作成する。その後、石膏を使用してシリコンゴム膜型を支える外型を作成する。

石膏の硬化後、脱型し実物資料を取り出す。

②樹脂成型品の製作：①で製作したシリコン型を用いて、エポキシ樹脂製の樹脂成型品を製作する。表層の硬化後、同じエポキシ樹脂を使用してガラス繊維を貼り込み、FRP（強化繊維プラスチック）を成形する。分割されている型を合わせる。

③仕上げ作業：型の合わせ目に生じるバリや細部を修正する。

④彩色：実物資料と樹脂成型品を並べ置いて、実物資料を見ながら水性アクリル塗料等を用いて彩色を行う。

成果品は、令和4年2月～4月初頭にかけての福岡市博物館企画展示「鉄のはなし」や、当センターでの令和4年度下半期の企画展示「海と山がおりなす歴史・後期展」において展示公開した。



製作した鍛冶工具のレプリカ

## 2. 資料の収蔵・整理

### (1) 収蔵方針

福岡市では、文化財行政を文化財活用部が主管し、記録保存目的の発掘調査を埋蔵文化財課が、保存目的の発掘調査を史跡整備活用課がそれぞれ担当している（本書Ⅰ-1参照）。福岡市埋蔵文化財センター（以下、「センター」という）では、昭和60（1985）年に策定した「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」（『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号所収）に従い、発掘調査担当課が整理・報告を行った出土遺物、記録類の受入・収蔵を行っている。国民の協力を得て実施される発掘調査の成果は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に利用されなければならない。センターでは、収蔵整理要項を実情にあわせて改訂しつつ、発掘調査成果が円滑に一般公開できるよう発掘調査担当課と緊密な連携を図っている。

### (2) 令和3年度の本収蔵

令和3年度の本収蔵は、埋蔵文化財課など発掘調査担当課（埋文課と区分）から搬入・収蔵されたもの26件（本収蔵20件、追加収蔵6件）、センターで収蔵したもの51件（寄贈3件含む）のあわせて77件である。内訳は、新たに遺物コンテナ2,296箱、甕棺17基が登録された。3年度の収蔵数は2年度より減少している。これは2年度に九州大学移転事業に関わる元岡・桑原遺跡群の膨大な調査資料が一括して収蔵されたが、3年度は通有の年度収蔵数に戻ったためである（なお下記「本収蔵数一覧」は、2年度の収蔵数などにつ

いて、昨年度年報の報告数値を精査の結果修正している）。3年度の写真収蔵は、収蔵数が特に多かった2年度を除いて令和元年度と比べると、フィルム写真収蔵数は減少したが、逆にデジタル写真収蔵数は増えている。

令和3年度までにセンターに収蔵された資料は調査2,168件分（追加収蔵、寄贈受入まで含めた収蔵数は3,014件）で、これまでの調査総数2,727件（調査件数も福岡市主体調査数を精査して修正した）に対して、収蔵率は約80%である。引き続き、整理・報告作業を行う発掘調査担当課と収蔵作業について連携を図りつつ、センターにおいても仮収蔵資料の整理・収蔵作業を進めていく必要がある。

### (3) 収蔵環境の整備

収蔵資料のうち土器・石器などは一般収蔵庫に、金属器・木製品・自然遺物・玉類などは特別収蔵庫に収蔵している。また、写真類は第一記録類収蔵庫に、図面類は第二記録類収蔵庫および本館3階特別収蔵庫に、写真カードは第一資料整理室に収蔵している。

一般収蔵庫は収蔵量の限界に達しつつあり、平成27年度に月隈政府倉庫を取得して「月隈収蔵庫」として整備し、平成30年度より棚10段の鋼製収蔵棚を順次設置している。3年度までに遺物1,504箱が収蔵されている。引き続き月隈収蔵庫への鋼製収蔵棚の設置を進めていく。

本収蔵数一覧（2017～2021年度）

年度	収蔵区分	新規 遺跡数	追加 遺跡数	寄贈・採集 受入件数	登録遺物 点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル 写真（枚）	写真 カード（枚）	図面（枚）	
						甕棺（個）	コンテナ（箱）	35mm（本）	6×7（17）	4×5（枚）	35mm（37）	6×7（37）	4×5（枚）			遺構	遺物
2017	埋文課	33	18	0	20,589	1	1,919	207	2,262	12	5,124	1,333	12	5,635	1,529	1,358	1,764
	センター	5	34	2	1,946	2	163	131	1,166	0	2,062	367	7	0	649	320	496
	年度合計	38	52	2	22,535	3	2,082	338	3,428	12	7,186	1,700	19	5,635	2,178	1,678	2,260
2018	埋文課	37	0	0	17,893	7	1,783	285	2,643	0	6,407	2,347	0	10,664	1,787	966	1,705
	センター	1	48	5	6,159	11	118	3	31	0	193	6	0	218	142	29	88
	年度合計	38	48	5	24,052	18	1,901	288	2,674	0	6,600	2,353	0	10,882	1,929	995	1,793
2019	埋文課	38	13	0	12,787	16	1,647	97	1,357	0	2,762	1,092	33	5,672	820	714	780
	センター	3	6	3	4,671	1	374	87	679	0	1,891	71	0	0	446	383	297
	年度合計	41	19	3	17,458	17	2,021	184	2,036	0	4,653	1,163	33	5,672	1,266	1,097	1,077
2020	埋文課	19	8	0	32,196	57	9,820	217	2,525	60	3,361	1,686	24	15,845	1,648	1,196	4,527
	センター	2	16	1	3,038	0	206	19	148	0	270	23	0	0	158	111	103
	年度合計	21	24	1	35,234	57	10,026	236	2,673	60	3,631	1,709	24	15,845	1,806	1,307	4,630
2021	埋文課	20	6	0	32,243	17	2,276	64	756	0	2,028	614	0	5,858	499	430	995
	センター	2	46	3	294	0	20	9	0	0	95	0	0	0	20	1	2
	年度合計	22	52	3	32,537	17	2,296	73	756	0	2,123	614	0	5,858	519	431	997
計	埋文課	1,821	138	0	1,259,679	1,429	122,878	20,223	314,779	3,938	359,183	120,240	2,262	82,842	190,685	85,529	95,777
	センター	347	587	66	170,202	458	18,925	6,008	51,151	3,654	78,504	10,000	582	2,566	35,835	14,175	14,682
	総計	2,168	777	69	1,429,881	1,887	141,803	26,231	365,930	7,592	437,687	130,240	2,844	85,408	226,520	99,704	110,459

※計は1986～2021年度

※2020（R2）年度の統計数も実態に基づき修正している。

### 3. 教育普及

埋蔵文化財センターでは、発掘調査の成果や資料を広く市民に利用していただくために、資料の活用・公開および教育普及事業を行なっている。

#### (1) 展示

##### ①常設展示

「埋蔵文化財の保存・活用」と「弥生時代以来の海外交易の拠点」をテーマとした常設展示を公開している。

第1展示室では、埋蔵文化財の説明および発掘調査、記録作成、木器・金属器等の理化学的な分析と保存処理、資料の収蔵と活用、考古学の研究方法などを、出土品や記録類の展示とともに解説している。

第2展示室では、「奴国の時代」、「中世都市博多」と題して、日本の玄関口という本市の特徴を明瞭に示す弥生時代と中世の資料について展示・解説している。

(各展示室の展示項目については、『福岡市埋蔵文化財センター年報』第38号を参照。)

##### ②企画展示

第3展示室では、考古学講座のテーマに合わせた展示や、保存処理成果や発掘調査成果の速報展示などを行なっている。

○「第二の発掘-考古学×自然科学=新発見!?!-」展  
令和3年6月22日(火)～令和4年3月2日(水)



企画展示実施状況

○「新発見速報展-発掘されたふくおか 2022-」  
令和4年3月5日(土)～5月8日(日)



速報展示実施状況

##### ③プチ展示

平成28年度より、エントランスホールに展示ケースを設置し、学芸員おすすめの逸品を展示している。

○No.59「古代人の美的センス」(元岡・桑原遺跡群出土の有文木製品)

令和3年6月22日(火)～12月24日(金)

○No.60「火起こし具」(元岡・桑原遺跡群出土の火きり杵・火きり臼)

令和3年12月25日(土)～令和4年6月10日(金)



No.59 有文木製品



No.60 火起こし具

#### ④館外展示

##### ○常設の館外展示

市民が身近に出土品を見学できることを目的に、小学校や公民館等の公共施設や、発掘調査を実施した民間施設等において、資料の展示を行っている。

令和3年度からは新たに柏原公民館での展示を開始した（福岡大学考古学研究室との連携事業）。また、博物館学芸員実習で文化センター高取の展示替えを行なった。

##### [設置場所]

博多駅地下連絡通路・玄洋展示室・板付北小学校・野多目小学校・賀茂小学校・城原小学校・西戸崎小学校・馬出小学校・城南小学校・今津公民館・四箇田公民館・老司公民館・金武公民館・西都公民館・柏原公民館・和白図書館・戸切人権のまちづくり館等・教育センター・文化センター高取



柏原公民館展示実施状況



文化センター高取展示実施状況

##### ○短期の館外展示

主催者の申し込みを受けて、校区の文化祭や市内で開催される各種イベント等に臨時でブースを設け、校区やイベントのテーマに関する出土品を展示している。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、

短期の館外展示の申し込みはなかった。

#### (2) 収蔵資料の利用

##### ①収蔵資料の貸出

収蔵している出土品や発掘調査の記録類について、小中学校や公民館、国内外の博物館や研究機関、出版社等のメディア等に対し、貸出しを行っている。収蔵資料の貸出しは、福岡市埋蔵文化財センター条例第5条第1項に定めるとおり、許可手続きを経て行う。

##### 令和3年度の貸出数

内容	件数	点数		
		考古資料 (出土品)	記録類ほか (写真等)	合計
短期貸出	152	655	729	1,384
長期貸出 (借用期間1年以上)	49	2,744	28	2,772

##### 令和2年度の貸出数

内容	件数	点数		
		考古資料 (出土品)	記録類ほか (写真等)	合計
短期貸出	100	483	243	726
長期貸出 (借用期間1年以上)	49	2,875	11	2,886

※『福岡市埋蔵文化財センター年報』第40号(2021年発行)7頁記載の表を訂正するもの。

##### ②収蔵資料の閲覧

収蔵している出土品や発掘調査の記録類について、市民や考古学を学ぶ学生、研究者等の要望に応じて、閲覧に供している。また、メディア等の撮影の依頼にも応じている。

##### 令和3年度の閲覧数

内容	件数	点数
考古資料(出土品)	87	6,099
記録類ほか(写真等)	5	3,867
合計	92	9,966

##### 令和2年度の閲覧数

内容	件数	点数
考古資料(出土品)	80	8,693
記録類ほか(写真等)	2	217
合計	82	8,910

※『福岡市埋蔵文化財センター年報』第40号(2021年発行)7頁記載の表を訂正するもの。

### ③関連図書の収蔵と閲覧

遺跡や考古学関係の図書の受け入れを行ない、図書室で一般に公開している。令和3年度の受け入れ図書は下記の通りで、蔵書数は合計107,572冊となった。

令和3年度 新規受け入れ図書(冊)	一般	雑誌	合計
購入	1	89	90
受贈	2,188	39	2,227
合計	2,189	128	2,317

### (3) 公開講座

#### ①考古学講座

福岡市内の遺跡や出土品に関する年間テーマを決め、研究の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、市民とともにより深く考古学を学ぶことを目的に実施している。

令和3年度のテーマは「第二の発掘－考古学×自然科学＝新発見!?－」で、計7回を開催し、339人が受講した(各回定員50人)。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回が中止となったが、講師の協力により、第1回講座分は動画配信とホームページへの資料掲載、第4回分はホームページへの資料掲載を行なった。

#### ②速報講座

発掘調査や保存処理成果の速報講座を実施している。

令和3年度は、速報講座「発掘調査総まくり」(福岡市埋蔵文化財課・田上勇一郎氏)を開催し、50人が受講した(定員50人)。

### (4) 体験型イベント

#### ①収蔵庫暗闇ツアー

薄暗い収蔵庫を探検して、歴史クイズに挑戦するという子ども向けの体験型歴史学習イベントで、平成29年度から実施している。

[実施日] 11月6日(土) ※新型コロナウイルス感染防止のため、8月予定から延期して実施した。

[参加者数] 12組36人



収蔵庫暗闇ツアー実施状況

### (5) 施設の利用

#### ①団体見学ほか

申し込みに応じて、学芸員が展示室、収蔵庫、保存処理設備などのバックヤードを案内している。

### 考古学講座一覧

回	開催日	講演タイトル	講師名	受講者数
1	5/22(土)	福岡市の保存科学	比佐 陽一郎氏 (福岡市文化財活用部)	中止
2	6/26(土)	土器匠痕昆虫が語る縄文人のなりわいとくらし	小畑 弘己氏 (熊本大学)	45
3	8/7(土)	赤色顔料からわかる弥生時代・古墳時代の葬送儀礼の一端 ー顕微鏡で見る朱とベンガラが物語ることー	本田 光子氏 (九州国立博物館)	48
4	9/11(土)	土器のかけらから解き明かすいにしへの食と調理	庄田 慎矢氏 (奈良文化財研究所)	中止
5	10/23(土)	粘土からわかる弥生土器の生産と移動	石田 智子氏 (鹿児島大学)	50
6	11/13(土)	石材からわかる九州の縄文時代・弥生時代の玉文化	大坪 志子氏 (熊本大学)	49
7	12/11(土)	るつばからさぐる中世博多の金属生産	沓名 貴彦氏 (国立科学博物館)	50
8	1/22(土)	X線を用いた分析からわかるアイヌ民族資料の素材と技術	大江 克己氏 (国立アイヌ民族博物館)	47
9	2/19(土)	考古学と科学のこれから ーデジタル技術が文化財の記録保存と活用に果たす役割ー	村上 浩明氏 (株式会社とっぺん)	50
合計				339

団体見学	団体数	人数
学生	7	77
一般	23	490
合計	30	567

## ②講座室・会議室の利用

申し込みに応じて、考古学関係の研究会等の会場として一般に提供している。

内容	件数	利用者数
研究会	0	0
会議 (オンライン)	22	22
大学講義	3	16
合計	25	38



## (6) 出前授業・出前歴史講座

地域の遺跡や出土品を身近に感じてもらい、歴史に対する興味・関心を持ってもらうことを目的に実施している。前年度に市立小学校・特別支援学校・公民館に募集をかけ、年間スケジュールを組んだ上で、教育普及専門職員を講師として派遣している。

### ①出前授業（小学校）

平成17年度から実施している。令和3年度は4つのプログラムを用意し、32校、2,525人の児童が受講した。うち2校はオンライン授業で実施した。別に中学校1校（2人）で実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8校が中止となった。



出前授業実施状況

### 出前授業プログラム一覧

授業名 (時間)	授業概要	校数 (授業数)	人数
銅鏡づくり (70分)	金属器の歴史、日本の歴史で銅鏡の果たした役割（古墳時代の歴史）、福岡市内で発見された銅鏡などについて学ぶ。また、鑄造・鏡の作り方も学ぶ。原料の金属（ビスマス＝低温度溶解金属）を鑄型に流し込んで直径5cmの鏡を作る。	7 (13)	313
火起こし体験 (60分)	文明の根幹である火が人類の進化にとってどれほど重要であるかを考える。火をどのように入手し、利用してきたかを学ぶ。弓きり式、舞いきり式、火打石など様々な火起こし方法を体験する。	12 (35)	969
郷土の歴史 (45～60分)	校区の歴史や文化財について、より詳しく学ぶ。学校の敷地や校区内、もしくは周辺で発掘された遺物を実際に手に取って観察する。	8 (28)	837
チャレンジ考古学 (60分)	校区の歴史や文化財について、より詳しく学ぶ。校区内（もしくは学校の敷地内）から出土した遺物を観察し、スケッチする。観察したことをまとめ、時代や用途について考える。	5 (14)	406
		32 (90)	2,525

## ②出前歴史講座（公民館等）

平成24年度から実施している。令和3年度は成人用と児童用の4つのプログラムを用意し、4館、74人の市民・児童が受講した。

### 出前歴史講座プログラム一覧

講座名（時間）	施設数	人数
〔成人向け〕郷土の歴史 ―まちの遺跡について―（60分）	2	49
〔児童向け〕校区の歴史を学ぼう！ ―身近な遺跡― （レクチャーのみ。60分）	0	0
〔児童向け〕校区の歴史を学ぼう！ ―身近な遺跡― （ハンズオン・歴史体験。90分）	2	25
〔児童向け〕校区の歴史を学ぼう！ ―身近な遺跡―（勾玉づくり。90分）	0	0
	4	74



歴史講座実施状況



博物館学芸員実習実施状況

## （7）その他

### ①博物館学芸員実習

市内外の大学からの申し込みに応じて、学芸員養成教育における博物館実習（館園実習）を実施している。

〔実習生〕5人（福岡大学、筑紫女学園大学）

〔実習期間〕令和3年8月17日（火）～8月28日（土）の日・月曜を除く10日間

〔実習内容〕文化財行政と埋蔵文化財センターの役割、施設見学、資料の収蔵・整理、教育普及・公開活用、展示計画・展示作業、保存処理、情報発信など

### ②中学生職場体験

中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうために、福岡市教育委員会からの依頼および市内中学校からの申し込みに応じて実施している。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、申し込みがなかった。

## （8）刊行物

○『福岡市埋蔵文化財センター年報』第40号（令和2（2020）年度、A4判20頁、令和3年12月24日発行）

○『「福岡市の考古学」スタートブック』（B5判8頁、令和3年8月1日発行）

○『自由研究ガイド：遺跡とのふしぎなつながり大発見！』（B5判9頁、令和3年7月29日発行）

## 4. 保存処理

### (1) はじめに

当センターでは昭和 57 年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成 11 年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第 15 号（増築前）、18 号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

### (2) 有機物（出土木製品）

#### 1) 保存処理の概要

令和 3 年度処理を行ったのは 9 遺跡 352 点で、その内容は一覧表の通りである。この内、元岡・桑原 18 次 23 点、20 次 66 点、42 次 1 点、今宿五郎江 11 次 1 点、大塚 14 次 1 点、比恵 130 次 28 点の計 120 点は国庫補助事業によるものである。

処理方法は資料の大きさ、構造、樹種、劣化状態などの諸条件を基に、主に次の 3 つの方法から選択している。一つは、開館以来中心的に用いている、合成樹脂 PEG-4000 を用いた「PEG 含浸法」、もう一つは人工糖類トレハロースを用いた「トレハロース含浸法」、三つ目は大型の凍結乾燥機を用いた「真空凍結乾燥法」である。

これらの方法にはそれぞれ一長一短あるが、現状では PEG 含浸法を中心的に行い、他の方法については PEG 含浸法で処理が困難とされる墨書を有する資料、漆器、広葉樹芯持ち材、大型の木製品などに対する適用を想定している。この内、トレハロース含浸法は、従来行われてきたラクチトール含浸法に代わり、新たに開発され普及しつつある処理法である。当センターにおいてはノウハウが十分に蓄積されておらず、先進的に行っている機関からの指導を受けながら試験的な運用を行っている。

#### 2) 保存処理の工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前写真の撮影、処理カードの作成といった共通作業の後、次のような工程で行っている。

##### ● PEG 含浸法

- ①資料の梱包・・・不織布で梱包し、メッシュ入りコンテナ等に納める。
- ②PEG 含浸・・・専用の含浸装置に資料を入れ、注水、60℃に加熱する。温度が安定したら初期濃度 20% より置換開始。濃度は 1 週間に一度溶液を採取して、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出する。約 9 ヶ月で 100% まで濃度を上げる。
- ③遺物の取り上げ～洗浄、乾燥（PEG の固化）・・・溶液から取り出し後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥。
- ④処理後の点検作業・・・変形、破損の有無を点検し、処理カードに記入。
- ⑤脱色及び表面処理・・・湯煎したアルコールによる表面洗浄。
- ⑥修復・・・エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ樹脂にマイクロバルーンを混入した材料による欠損の復元。

##### ●トレハロース含浸法

- ①溶液の準備・・・ステンレス製の深型バットにトレハロースを水で溶解。初期濃度は 20～30% 程度。恒温乾燥機中に先述のバットを設置、資料を溶液に入れ、蓋をして溶液を加熱する。
- ②トレハロースの含浸置換・・・徐々に恒温乾燥機の温度を上げ、高濃度の溶液に資料を入れ替える。70℃での溶液の限界濃度（70% 程度）まで濃度を上昇させる。これら一連の含浸期間は資料の形状や材質によるが、概ね 4～8 週間程度である。
- ③結晶化・・・資料を溶液から取り出し、送風機によって常温の風を当てることで、糖の結晶化を図る。
- ④洗浄・・・表面に固着しているトレハロースの結晶を、スチーム洗浄機を用いて洗浄。

### ●真空凍結乾燥法

① PEG の含浸置換・・・注水した PEG 含浸装置中に資料を入れ、60℃に加熱。約6ヶ月かけて50%に濃度を上げる。

② 遺物の取り上げ～洗浄・・・溶液から取り出し後、温水で表面洗浄。

③凍結乾燥処理・・・資料を真空凍結乾燥機に入れ、装置を作動。1ヶ月程度-40℃～-60℃で予備凍結させる。その後チャンバーを真空にして、水分の昇華を図る。

令和3年度は、真空凍結乾燥法による木製品の処理は行っていない。

なお、保存処理の完了した資料は、全て埋蔵文化財センターの特別収蔵庫に保管している。

### 3) 保存処理資料の紹介

#### PEG 含浸処理資料

#### ●元岡・桑原遺跡群第52次調査出土木製品

(写真1～6)

元岡・桑原遺跡群は九州大学伊都キャンパス造成に伴う埋蔵文化財調査によって発見された。第52次調査は遺跡全体の南側、南東方向に開口する谷部に位置しており、庚寅銘大刀が出土した元岡G-6号墳から80mほど南側である。南側で調査された42次調査と同じく、弥生時代中期後半～後期の流路から農具や工具、祭祀具など様々な木製品が出土している。

写真1、2は杓子である。1は全長25.8cmと全体的に小ぶりである。皿部縁の上部から柄が伸びる。2は剝物の横杓子である。全長38.9cmを測る。内側に加工痕が多い。柄は皿部の中位から伸びるタイプである。

写真3は農具の鋤の柄と三又鋤の身部である。柄の全長は52.0cm、身部の長さは34.9cmである。

写真4は火鑽臼である。全長25.1cm。8カ所確認できる臼は、すべて黒く焦げており使用痕が確認できる。臼の径は1.1～1.3cmである。

写真5は掬い具である。全長31.6cm。元々は色濃い堅材であったようだが、PEG処理の関係で上半部の色が抜けてしまっている。

写真6は三又鋤である。柄は直角に取り付けていたようである。全長46.8cmを測り、一部刃先が欠ける。

#### ●比恵遺跡群第130次調査出土木製品

(写真7～8)

博多区博多駅南3丁目に所在する。周囲で第4・25・80・115次等の調査が行われており、第25次調査では多数の木器が出土している。

写真7は木製の高坏である。高さ22.7cmを測る。これまでに比恵遺跡群、壱岐市の原の辻遺跡などで出土しているが、それらには漆が塗られているが、今回の資料には漆は塗られていない。また、全体的に整形が悪く未成品の可能性も指摘されている。

写真8は鋤である。全長32.3cmで、中心部は分厚い作りである。刃部が丸くなっており、使用の痕跡と考えられている。

トレハロース含浸処理法により保存処理を行った遺物については紙幅の関係上、掲載できなかったが、今後も引き続き保存処理を行っていく予定である。

#### 【参考文献】

米倉秀紀・常松幹雄 2018『元岡・桑原遺跡群 29』福岡市教育委員会

吉留秀敏・米倉秀紀・池田裕司 2019『元岡・桑原遺跡群 32』福岡市教育委員会

屋山洋 2016『比恵 70』福岡市教育委員会



写真1. 元岡・桑原遺跡群第52次出土杓子



写真2. 元岡・桑原遺跡群第52次出土杓子



写真3. 元岡・桑原遺跡群第52次出土三又鋤



写真4. 元岡・桑原遺跡群第52次出土火鑽臼



写真5. 元岡・桑原遺跡群第52次出土掬い具



写真6. 元岡・桑原遺跡群第52次出土三又鋤



写真7. 比恵遺跡群130次出土木製高坏



写真8. 比恵遺跡群130次出土鋤

令和3（2021）年度保存処理木製品一覧

処理No.	遺物No.	資料名	時代	市報	報告書Fig	処理方法
-------	-------	-----	----	----	--------	------

今宿五郎江 11次（調査番号：0531）

37003	05355	杓文字	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37084	06318	硯台	弥生時代後期～古墳時代前期	第1221集	Fig71-6318	PEG含浸（3m槽）

元岡・桑原 18次（調査番号：9946）

36913	80009	不明板状部材	古代	第1102集	Fig101-5	PEG含浸（3m槽）
36914	80014	不明板状部材	古代	第1102集	Fig102-6	PEG含浸（3m槽）
36915	80015	不明板状部材	古代	第1102集	Fig102-22	PEG含浸（3m槽）
36916	80016	碇	古代	第1102集	Fig101-10	PEG含浸（3m槽）
36917	80019	不明板状部材	古代	第1102集	Fig102-16	PEG含浸（3m槽）
36918	80020	碇	古代	第1102集	Fig101-9	PEG含浸（3m槽）
36919	80023	杓文字	古代	第1102集	Fig102-23	PEG含浸（3m槽）
36920	80030	鍬	古代	第1102集	Fig102-23	PEG含浸（3m槽）
36921	81010	容器	古代	第1302集	Fig15-10	PEG含浸（3m槽）
36922	81011	曲物底または蓋	古代	第1302集	Fig15-11	PEG含浸（3m槽）
36923	81013	曲物底または蓋	古代	第1302集	Fig15-13	PEG含浸（3m槽）
36924	81016	容器片	古代	第1302集	Fig15-16	PEG含浸（3m槽）
36925	81021	曲物底または蓋	古代	第1302集	Fig15-21	PEG含浸（3m槽）
36926	81027	刀把頭部か	古代	第1302集	Fig15-27	PEG含浸（3m槽）
36927	81028	独坐	古代	第1302集	Fig15-28	PEG含浸（3m槽）
36928	81030	札	古代	第1302集	Fig15-30	PEG含浸（3m槽）
36929	81032	不明部材	古代	第1302集	Fig16-32	PEG含浸（3m槽）
36930	81033	曲物底または蓋	古代	第1302集	Fig16-33	PEG含浸（3m槽）
36931	81034	不明板材	古代	第1302集	Fig16-34	PEG含浸（3m槽）
36932	81035	栓	古代	第1302集	Fig16-35	PEG含浸（3m槽）
36933	81036	不明部材	古代	第1302集	Fig16-36	PEG含浸（3m槽）
36934	81037	不明部材	古代	第1302集	Fig16-37	PEG含浸（3m槽）
36935	81041	不明部材	古代	第1302集	Fig16-41	PEG含浸（3m槽）
37251	80022	不明部材	古代	第1302集	Fig102-21	PEG含浸（3m槽）
37252	81007	ヤス	古代	第1302集	Fig14-7	PEG含浸（3m槽）

元岡・桑原 20次（調査番号：0001）

36936	20138	鏝柄	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-1	PEG含浸（3m槽）
36937	20139	鏝柄	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-2	PEG含浸（3m槽）
36938	20141	不明製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-4	PEG含浸（3m槽）
36939	20144	曲柄鍬	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-7	PEG含浸（3m槽）
36940	20147	楕か	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-10	PEG含浸（3m槽）
36941	20160	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-23	PEG含浸（3m槽）
36942	20161	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-24	PEG含浸（3m槽）
36943	20162	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-25	PEG含浸（3m槽）
36944	20163	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-26	PEG含浸（3m槽）
36945	20164	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-27	PEG含浸（3m槽）
36946	20165	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-28	PEG含浸（3m槽）
36947	20166	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-29	PEG含浸（3m槽）
36948	20169	槽	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-32	PEG含浸（3m槽）
36949	20175	火鑽白	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-38	PEG含浸（3m槽）
36950	20176	不明部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-39	PEG含浸（3m槽）
36951	20177	不明有頭製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-40	PEG含浸（3m槽）
36952	20178	木簡	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-41	PEG含浸（3m槽）
36953	20179	横櫛	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-42	PEG含浸（3m槽）
36954	20180	横櫛	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-43	PEG含浸（3m槽）
36955	20181	横櫛	古墳時代～古代	第1328集	Fig4-44	PEG含浸（3m槽）
36956	20184	不明部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig5-47	PEG含浸（3m槽）
36957	20186	不明有頭製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig5-49	PEG含浸（3m槽）
36958	20187	不明部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig5-50	PEG含浸（3m槽）
36959	20189	木藤か	古墳時代～古代	第1328集	Fig5-52	PEG含浸（3m槽）
36960	20193	弓先か	古墳時代～古代	第1328集	Fig5-56	PEG含浸（3m槽）
36961	20198	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig6-61	PEG含浸（3m槽）
36962	20200	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig6-63	PEG含浸（3m槽）
36963	20208	不明製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig6-71	PEG含浸（3m槽）
36964	20213	人形	古墳時代～古代	第1328集	Fig7-76	PEG含浸（3m槽）
36965	20216	人形	古墳時代～古代	第1328集	Fig7-79	PEG含浸（3m槽）
36966	20218	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig7-81	PEG含浸（3m槽）
36967	20220	舟形木製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig7-83	PEG含浸（3m槽）
36968	20224	鏝柄	古墳時代～古代	第1328集	Fig8-89	PEG含浸（3m槽）
36969	20226	鍬曲柄	古墳時代～古代	第1328集	Fig8-89	PEG含浸（3m槽）
36970	20238	曲物底	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-101	PEG含浸（3m槽）
36971	20242	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-105	PEG含浸（3m槽）
36972	20245	曲物底または蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-101	PEG含浸（3m槽）
36973	20247	蓋	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-110	PEG含浸（3m槽）
36974	20250	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-113	PEG含浸（3m槽）
36975	20252	容器片	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-115	PEG含浸（3m槽）
36976	20254	盃	古墳時代～古代	第1328集	Fig10-117	PEG含浸（3m槽）
36977	20255	不明	古墳時代～古代	第1328集	Fig10-118	PEG含浸（3m槽）
36978	20256	鞘	古墳時代～古代	第1328集	Fig10-119	PEG含浸（3m槽）
36979	20264	浮子	古墳時代～古代	第1328集	Fig10-127	PEG含浸（3m槽）
36980	20265	浮子	古墳時代～古代	第1328集	Fig10-128	PEG含浸（3m槽）
36981	20269	不明鉤状	古墳時代～古代	第1328集	Fig11-132	PEG含浸（3m槽）
36982	20287	不明部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig12-150	PEG含浸（3m槽）
36983	20289	不明棒状	古墳時代～古代	第1328集	Fig12-152	PEG含浸（3m槽）
36984	20291	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-154	PEG含浸（3m槽）
36985	20297	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-160	PEG含浸（3m槽）
36986	20298	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-161	PEG含浸（3m槽）
36987	20299	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-162	PEG含浸（3m槽）
36988	20302	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-165	PEG含浸（3m槽）
36989	20308	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-171	PEG含浸（3m槽）
36990	20313	不明棒状	古墳時代～古代	第1328集	Fig14-176	PEG含浸（3m槽）
36991	20319	人形	古墳時代～古代	第1328集	Fig14-182	PEG含浸（3m槽）
36992	20320	人形	古墳時代～古代	第1328集	Fig14-183	PEG含浸（3m槽）

36993	20325	舟形木製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig15-188	PEG含浸（3m槽）
36994	20331	直柄二又鍬	古墳時代～古代	第1328集	Fig16-194	PEG含浸（3m槽）
36996	20335	ナスビ形曲柄鍬	古墳時代～古代	第1328集	Fig16-198	PEG含浸（3m槽）
36997	20360	横鍬木製品か	古墳時代～古代	第1328集	Fig18-223	PEG含浸（3m槽）
36998	20361	不明板状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig17-224	PEG含浸（3m槽）
36999	20390	鍬	古墳時代～古代	第1328集	Fig21-254	PEG含浸（3m槽）
37000	20392	容器	古墳時代～古代	第1328集	Fig21-256	PEG含浸（3m槽）
37001	20403	火鑽棒	古墳時代～古代	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37033	20140	柄	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-3	PEG含浸（3m槽）
37034	20143	不明	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-6	PEG含浸（3m槽）
37035	20148	不明（人形）	古墳時代～古代	第1328集	Fig2-11	PEG含浸（3m槽）
37036	20157	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-20	PEG含浸（3m槽）
37037	20159	蓋又は底	古墳時代～古代	第1328集	Fig3-22	PEG含浸（3m槽）
37038	20195	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig5-58	PEG含浸（3m槽）
37039	20225	不明柄	古墳時代～古代	第1328集	Fig8-88	PEG含浸（3m槽）
37040	20231	浮子	古墳時代～古代	第1328集	Fig8-94	PEG含浸（3m槽）
37041	20240	蓋か底	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-103	PEG含浸（3m槽）
37042	20251	不明製品破片	古墳時代～古代	第1328集	Fig9-114	PEG含浸（3m槽）
37043	20268	不明（鉤状）	古墳時代～古代	第1328集	Fig11-131	PEG含浸（3m槽）
37044	20271	大型容器片	古墳時代～古代	第1328集	Fig11-134	PEG含浸（3m槽）
37045	20279	不明（網杓か）	古墳時代～古代	第1328集	Fig12-142	PEG含浸（3m槽）
37046	20282	不明棒状	古墳時代～古代	第1328集	Fig12-145	PEG含浸（3m槽）
37047	20283	不明棒状部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig12-146	PEG含浸（3m槽）
37048	20293	不明	古墳時代～古代	第1328集	Fig13-156	PEG含浸（3m槽）
37049	20312	木簡（墨書ナシ）	古墳時代～古代	第1328集	Fig14-175	PEG含浸（3m槽）
37050	20314	不明	古墳時代～古代	第1328集	Fig14-177	PEG含浸（3m槽）
37051	20323	舟形木製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig15-186	PEG含浸（3m槽）
37052	20326	鳥形製品	古墳時代～古代	第1328集	Fig15-189	PEG含浸（3m槽）
37053	20334	鍬	古墳時代～古代	第1328集	Fig16-197	PEG含浸（3m槽）
37054	20338	不明部材	古墳時代～古代	第1328集	Fig16-201	PEG含浸（3m槽）
37055	20339	鍬か	古墳時代～古代	第1328集	Fig16-202	PEG含浸（3m槽）
37056	20353	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig17-216	PEG含浸（3m槽）
37057	20362	不明板	古墳時代～古代	第1328集	Fig18-225	PEG含浸（3m槽）
37058	20366	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig18-229	PEG含浸（3m槽）
37059	20370	不明部材（NO.9）	古墳時代～古代	第1328集	Fig19-233	PEG含浸（3m槽）
37060	20371	不明部材（NO.9）	古墳時代～古代	第1328集	Fig19-234	PEG含浸（3m槽）
37061	20372	不明部材板状（NO.9）	古墳時代～古代	第1328集	Fig19-235	PEG含浸（3m槽）
37062	20374	不明	古墳時代～古代	第1328集	Fig19-237	PEG含浸（3m槽）
37063	20385	三又鍬	古墳時代～古代	第1328集	Fig21-248	PEG含浸（3m槽）
37064	20393	不明板状	古墳時代～古代	第1328集	Fig21-257	PEG含浸（3m槽）
37065	20394	台か	古墳時代～古代	第1328集	Fig21-258	PEG含浸（3m槽）

元岡・桑原 42次（調査番号：0451）

37002	00081	柄杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1275集	Fig119-53	PEG含浸（3m槽）
37066	00080	不明棒状	弥生時代後期～古墳時代前期	第1275集	Fig26-87	PEG含浸（3m槽）
37067	01001	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37068	01002	板状	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37069	01071	不明（鉤状）	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37070	01073	板状	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37071	01074	板状	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37072	01143	不明板	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37073	01144	不明板	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37074	01145	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37075	01147	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig52-276	PEG含浸（3m槽）
37076	01148	杵一部	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig28-113	PEG含浸（3m槽）
37077	01149	筭	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig64-355	PEG含浸（3m槽）
37078	01150	鏝	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig24-83	PEG含浸（3m槽）
37079	01151	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig52-277	PEG含浸（3m槽）
37080	01152	柱材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig52-278	PEG含浸（3m槽）
37081	01280	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37082	01471	鏝か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-114	PEG含浸（3m槽）
37083	95114	鏝種不明	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸（3m槽）
37253	01261	木甲	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig36-154-F	トレハコース
37254	01245	木甲	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig36-156-A	トレハコース
37255	01246	木甲	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig36-152-E	トレハコース
37256	01043	木甲	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig36-155	トレハコース
37257	01255	木甲	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig36-153-A	トレハコース
37258	02002	漆器碗	弥生時代後期～古墳時代前期	第1275集	Fig121-52	トレハコース
37260	01241	漆器高坏脚	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig36-149	

37106	01022	三又楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig107-96	PEG含浸(3mm)	
37107	01023	蓋	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig105-81	PEG含浸(3mm)	
37108	01024	不明板	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-29	PEG含浸(3mm)	
37109	01025	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig106-87	PEG含浸(3mm)	
37110	01026	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig107-99	PEG含浸(3mm)	
37111	01027	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig106-90	PEG含浸(3mm)	
37112	01028	楸か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig108-106	PEG含浸(3mm)	
37113	01029	楸か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig106-94	PEG含浸(3mm)	
37114	01030	舟形容器	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig97-4	PEG含浸(3mm)	
37115	01031	鋤	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-113	PEG含浸(3mm)	
37116	01032	不明部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-28	PEG含浸(3mm)	
37117	01033	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-46	PEG含浸(3mm)	
37118	01034	鋤か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig108-108	PEG含浸(3mm)	
37119	01035	横植	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig106-91	PEG含浸(3mm)	
37120	01036	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig103-72	PEG含浸(3mm)	
37121	01037	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-120	PEG含浸(3mm)	
37122	01038	杓の柄	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-44	PEG含浸(3mm)	
37123	01039	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig113-22	PEG含浸(3mm)	
37124	01040	楸の一部	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-128	PEG含浸(3mm)	
37125	01041	朝物箱底部分	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig98-19	PEG含浸(3mm)	
37126	01042	柄	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig106-86	PEG含浸(3mm)	
37127	01044	杓子	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-50	PEG含浸(3mm)	
37128	01045	杓子(蓋の部分)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-43	PEG含浸(3mm)	
37129	01046	蓋か底	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-26	PEG含浸(3mm)	
37130	01047	容器か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig98-17	PEG含浸(3mm)	
37131	01048	壁材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig114-25	PEG含浸(3mm)	
37132	01049	大型桶の底板	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig104-80-105-83	PEG含浸(3mm)	
37133	01050	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-127	PEG含浸(3mm)	
37134	01051	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-126	PEG含浸(3mm)	
37135	01052	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig107-104	PEG含浸(3mm)	
37136	01053	不明板状	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-30	PEG含浸(3mm)	
37137	01054	鋤	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-115	PEG含浸(3mm)	
37138	01055	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig106-85	PEG含浸(3mm)	
37139	01056	不明部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-27	PEG含浸(3mm)	
37140	01057	不明板状	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-20	PEG含浸(3mm)	
37141	01058	臼(未成品)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig98-11	PEG含浸(3mm)	
37142	01059	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-51	PEG含浸(3mm)	
37143	01060	農具(鋤か又杖)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-118	PEG含浸(3mm)	
37144	01061	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸(3mm)	
37145	01062	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-12	PEG含浸(3mm)	
37146	01063	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-10	PEG含浸(3mm)	
37147	01064	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-9	PEG含浸(3mm)	
37148	01065	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-7	PEG含浸(3mm)	
37149	01066	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-8	PEG含浸(3mm)	
37150	01067	棒状木製品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-15	PEG含浸(3mm)	
37151	01068	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-14	PEG含浸(3mm)	
37152	01069	底板	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-16	PEG含浸(3mm)	
37153	01070	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-13	PEG含浸(3mm)	
37154	01071	杓未成品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-2	PEG含浸(3mm)	
37155	01072	杓子	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-3	PEG含浸(3mm)	
37156	01073	不明部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig114-24	PEG含浸(3mm)	
37157	01074	不明部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig114-26	PEG含浸(3mm)	
37158	01075	角材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-17	PEG含浸(3mm)	
37159	01076	鋤の柄	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-112	PEG含浸(3mm)	
37160	01077	剣形木製品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-18	PEG含浸(3mm)	
37161	01078	楸の一部か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-122	PEG含浸(3mm)	
37162	01079	鋤身(三又)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig107-97	PEG含浸(3mm)	
37163	01080	楸の柄	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-111	PEG含浸(3mm)	
37164	01081	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-117	PEG含浸(3mm)	
37165	01082	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-20	PEG含浸(3mm)	
37166	01083	杓子	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-6	PEG含浸(3mm)	
37167	01084	杓子の未成品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-1	PEG含浸(3mm)	
37168	01085	杓子の未成品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-1	PEG含浸(3mm)	
37169	01086	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-19	PEG含浸(3mm)	
37170	01087	不明(楸)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig113-21	PEG含浸(3mm)	
37171	01088	不明部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig113-23	PEG含浸(3mm)	
37172	01089	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig103-71	PEG含浸(3mm)	
37173	01090	不明木製品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-34	PEG含浸(3mm)	
37174	01091	鋤の把手	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-56	PEG含浸(3mm)	
37175	01092	把手	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-48	PEG含浸(3mm)	
37176	01093	横植か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-4	PEG含浸(3mm)	
37177	01094	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig112-11	PEG含浸(3mm)	
37178	01095	楸片か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-123	PEG含浸(3mm)	
37179	01096	不明(剣状)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-130	PEG含浸(3mm)	
37180	01097	整弁の握り部	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-58	PEG含浸(3mm)	
37181	01099	朝物容器	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig97-8	PEG含浸(3mm)	
37182	01100	朝物容器	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-47	PEG含浸(3mm)	
37183	01101	鋤	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig111-5	PEG含浸(3mm)	
37184	01102	木製品	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-36	PEG含浸(3mm)	
37185	01103	不明皿盤状	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-39	PEG含浸(3mm)	
37186	01106	柱根	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸(3mm)	
37187	01109	儀器(道具)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig97-5	PEG含浸(3mm)	
37188	01110	朝物容器	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig97-6	PEG含浸(3mm)	
37189	01111	舟形容器	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig97-7	PEG含浸(3mm)	
37190	01112	臼	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig98-12	PEG含浸(3mm)	
37191	01113	臼	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig98-13	PEG含浸(3mm)	
37192	01114	不明部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig98-14	PEG含浸(3mm)	
37193	01117	机部材	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-32	PEG含浸(3mm)	
37194	01118	火鑽臼	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-38	PEG含浸(3mm)	
37195	01120	不明(鋤、杓文字?)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig99-41	PEG含浸(3mm)	
37196	01121	杓(蓋の部分)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-42	PEG含浸(3mm)	
37197	01123	杓(蓋部付近)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-49	PEG含浸(3mm)	

37198	01124	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-52	PEG含浸(3mm)	
37199	01125	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-53	PEG含浸(3mm)	
37200	01126	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-54	PEG含浸(3mm)	
37201	01127	杓子	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-55	PEG含浸(3mm)	
37202	01128	木鏝	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-57	PEG含浸(3mm)	
37203	01129	衣笠	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-59	PEG含浸(3mm)	
37204	01130	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-60	PEG含浸(3mm)	
37205	01131	腰掛	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-61	PEG含浸(3mm)	
37206	01132	斧の柄	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-62	PEG含浸(3mm)	
37207	01133	柄(斧か)	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig101-63	PEG含浸(3mm)	
37208	01134	衣笠	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig102-65	PEG含浸(3mm)	
37209	01135	衣笠	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig102-66	PEG含浸(3mm)	
37210	01137	杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig102-69	PEG含浸(3mm)	
37211	01138	ヤス	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig103-70	PEG含浸(3mm)	
37212	01139	三又楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig107-98	PEG含浸(3mm)	
37213	01140	農具片?	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig107-101	PEG含浸(3mm)	
37214	01141	鋤	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig109-119	PEG含浸(3mm)	
37215	01142	櫛	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-121	PEG含浸(3mm)	
37216	01143	不明棒状	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-129	PEG含浸(3mm)	
37217	01144	鋤か	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-131	PEG含浸(3mm)	
37218	01145	楸の一部	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig110-132	PEG含浸(3mm)	
37219	01146	琴板	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig96-1	PEG含浸(3mm)	
37220	01148	手杓	弥生時代後期～古墳時代前期	第1246集	Fig42-195	PEG含浸(3mm)	
37221	02003	木匙の未成品	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸(3mm)	
37222	02001	不明	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸(3mm)	
37223	01150	槽か	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸(3mm)	
37224	01151	不明板状	弥生時代後期～古墳時代前期	未掲載	未図化	PEG含浸(3mm)	
37259	01121	漆器靴	弥生時代後期～古墳時代前期	第1354集	Fig100-45	トハ入口ース	
37263	04375	楸	弥生時代後期～古墳時代前期	第1356集	Fig50-375	自然乾燥、7ル〜ル洗浄	
37264	04376	木鏝	弥生時代後期～古墳時代前期	第1356集	Fig50-376	自然乾燥、7ル〜ル洗浄	
37265	04377	木鏝	弥生時代後期～古墳時代前期	第1356集	Fig50-377	自然乾燥、7ル〜ル洗浄	

元岡・桑原 53 次 (調査番号 0768)

37225	00037	丸木木材	古代	第1328集	Fig13-37	PEG含浸(3mm)	
-------	-------	------	----	--------	----------	------------	--

大塚 14 次 (調査番号: 0726)

37004	20006	農具未製品	弥生時代後期～終末期	第1111集	Fig76-7・8	PEG含浸(3mm)	
-------	-------	-------	------------	--------	-----------	------------	--

比叻 130 次 (調査番号: 1338)

37005	00103	諸手楸	弥生時代前期末	第1292集	Fig18-103	PEG含浸(3mm)	
37006	00104	エブリ	弥生時代前期末	第1292集	Fig8-104	PEG含浸(3mm)	
37007	00106	高坏	弥生時代前期末	第1292集	Fig19-106	PEG含浸(3mm)	
37008	00107	柄杓	弥生時代前期末	第1292集	Fig19-107	PEG含浸(3mm)	
37009	00108	板材	弥生時代前期末	第1292集	Fig19-108	PEG含浸(3mm)	
37010	00109	板材	弥生時代前期末	第1292集	Fig19-109	PEG含浸(3mm)	
37011	00110	板材	弥生時代前期末	第1292集	Fig20-110	PEG含浸(3mm)	
37012	00111	竪柱	弥生時代前期末	第1292集	Fig20-111	PEG含浸(3mm)	
37013	00146	斧柄未製品	弥生時代中期前半	第1292集	Fig26-146	PEG含浸(3mm)	
37014	00147	斧鏝柄	弥生時代中期前半	第1292集	Fig26-147	PEG含浸(3mm)	
37015	00148	不明棒状	弥生時代中期前半	第1292集	Fig26-148	PEG含浸(3mm)	
37016	00149	匙木製品	弥生時代中期前半	第1292集	Fig26-149	PEG含浸(3mm)	
37017	00150	匙木製品	弥生時代中期前半	第1292集	Fig26-150	PEG含浸(3mm)	
37018	00151	柄	弥生時代中期前半	第1292集	Fig27-151	PEG含浸(3mm)	
37019	00152	不明連結板状	弥生時代中期前半	第1292集	Fig27-152	PEG含浸(3mm)	
37020	00154	不明部材	弥生時代中期前半	第1292集	Fig27-154	PEG含浸(3mm)	
37021	00155	板材	弥生時代中期前半	第1292集	Fig27-15		

### (3) 金属製品

#### 1) 保存処理の概要と工程

令和3年度に木製品以外で何らかの処理を行った資料は、12遺跡計280点である。

内訳は鉄・銅・青銅などの金属製品274点、その他6点である。

##### ①事前調査

出土した金属製品のほとんどは土、錆に覆われている。肉眼だと遺物表面の状態を観察することはできるが、内部構造まで見極めることは難しい。そのため、透過X線撮影装置や蛍光X線分析装置などの分析機器を用いて、遺物の形状・錆の進行状況・材質などを把握している。

##### ②クリーニング

事前調査で得られた結果をもとに、遺物の形状をよりわかりやすくするために、不必要な土や錆を手作業で除去する。

鉄製品は硬く分厚い錆に覆われているため、グラインダーやエアブラシなどを使用し錆層を削っていく。銅・青銅製品は表面の錆層が薄く、遺物本来の形状が保たれているものが多い。そのため表面に付着した土をアルコールで軟らかくし、筆やメスなどで慎重に取り除くにとどめる。

##### ③安定化処置

鉄・青銅製品中には塩化物イオンなどの塩類が含まれており、腐食を促進させる大きな要因となっている。これらを除去し腐食の進行を抑制することを目的とする。鉄製品の場合、メタルが残存している資料にはセスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬し、塩類を溶出させる方法をとっている。青銅製品に対しては、アルコールとベンゾトリアゾール(BTA)の混合液に含浸させることで、塩類の不活性化と資料の安定化をはかっている。

##### ④樹脂含浸

金属製品の多くは、内部に亀裂や空隙ができており、物理的に脆弱な状態である。そのため、遺物にアクリル樹脂を含浸させることで強化と保護膜の形成を施す。以前は鉄製品にはパラロイドNAD-10、青銅製品にはパラロイドB-72と使い分けていたが、諸事情により現在はパラロイドB-72のみを使用している。

##### ⑤修復

破片を接合し、本来の形状に戻す。使用する接着剤は、強度を要するものはエポキシ系樹脂、特に要さないものに対しては可塑性のあるセルロース系樹脂と使い分けている。

以上が処理の大まかな流れであるが、保存処理を行ったとしても、それはあくまで延命治療であり、環境の変化によって再び腐食が進行するおそれがある。

そのため、当センターでは金属製品は温湿度が管理され安定した環境下にある特別収蔵庫内にて保管している。また、資料によっては、酸素を透過しない特殊なフィルム袋に資料と脱酸素剤を入れてパックする方法(三菱ガス化学:RPシステム)により保管する。

#### 2) 保存処理資料の紹介

令和3年度に処理を行った資料の中から、次の3点について紹介する。

●博多遺跡群第216次調査出土鉄鉗もしくはエンマ釘抜き(写真1、2)

全長21.6cmである。はさみ部分はアーチ状を呈しており、径4.8cm。先端幅は2cmで、錆着しているため確認しづらいが、断面は長方形と見られる。握り部分は片方が17.6cm、もう片方が17.8cmと長さに若干の違いがある。断面は円形である。腐食により膨張しているが、全体的に厚みのある、頑丈な造りである。また、はさみと握りの一部に木質らしき有機物が付着している。共伴する陶磁器などから、時期は近世と考えられる。

●箱崎遺跡第92次調査出土葉莢(写真3、4)

径1.45cm、厚さ1~0.2mm、リム径1.6cmである。顕微鏡により資料細部の拡大観察を行ったところ、リム外面の3箇所文字のような刻印が見られた。腐食により判読しづらいが、おそらくは漢字と考えられる。材質分析では銅と亜鉛が検出されており、真鍮製と推定される。

●野芥遺跡第19次調査出土ガラス小玉(写真5)

顕微鏡にて資料表面の観察を行ったところ、不透明であるため気泡は見られなかったが、孔と平行方向に黒い筋が幾本も入っており、引き延ばし管切り技法によって製作されたものと推定され

る。材質分析では、主成分であるケイ素 (Si) をはじめ、アルミニウム (Al)、カリウム (K)、カルシウム (Ca)、チタン (Ti)、マンガン (Mn)、鉄 (Fe)、銅 (Cu)、鉛 (Pb)、スズ (Sn)、ストロンチウム (Sr)、ジルコニウム (Zr) などの元素が検出された (図1、図2)。

ナトリウムは検出されなかったが、カルシウムのピークが高いことから、ソーダ石灰ガラスと推定した。ナトリウムは風化により成分が消失した可能性も考えられる。アルミニウムのピークは明瞭だが微弱であり、今回は定量値を算出していないため、含有量の多寡については判断できなかった。また、銅のピークが強く検出されているが、これは先行研究によれば、赤色の着色が銅コロイドによるものであることが指摘されており、着色剤によるものと考えられる。外観の特徴や分析で得られたスペクトル図から、本資料はインド・パシフィックビーズのムチサラと推定した。ムチサラは紀元前3世紀から紀元後3世紀にかけてインド及び東南アジアで生産され、日本へ伝来したと考えられている。日本においては弥生時代後期の北部九州で出土し始め、古墳時代前期に一旦途絶え、古墳時代中期・後期前葉になると再び流通していたことが確認されている。本資料の出土遺構の年代は古墳時代後期 (6世紀後半) と推定されており、ムチサラが多量に流通していた時期のものと考えられる。

#### 【参考文献】

板倉有大 2021『博多171 - 博多遺跡群第216次調査報告 -』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1414集 福岡市教育委員会

藤崎彩乃 2022「附編 野芥遺跡19次出土ガラス小玉の保存科学的調査について」『野芥遺跡8 - 野芥遺跡19次調査報告 -』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1447集 福岡市教育委員会

板倉有大 2022『箱崎64 - 第92次・第102次・第108次調査報告 -』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1457集 福岡市教育委員会

#### (4) 分析機器について

当センターでは各種の分析装置を導入し、保存処理にかかる事前調査や自然科学的分析・研究を実施している。主な装置は以下の通り。

分析装置	機種
透過X線撮影装置	エクスロン社製 MG226/2.25
蛍光X線分析装置	EDAX 社製 Orbis システム
蛍光X線回折装置	BRUKER 社製 D8Discover
走査電子顕微鏡	日本FEI社製 Quanta250FEG
フーリエ変換赤外分光装置	BRUKER 社製 ALPHA システム
デジタルマイクロスコープ	HiROX 社製 KH-8700
赤外線カメラ	Orca Flush4.0、 Lumina Vision

(令和4年3月31日現在)



写真1. 鉄鉗もしくはエンマ釘抜き

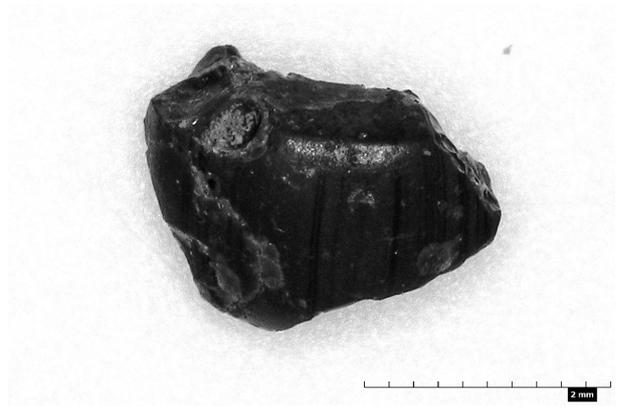


写真5. ムチサラガラス小玉

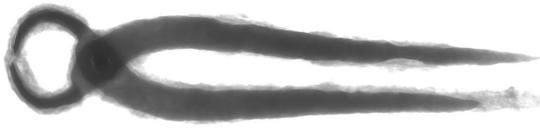


写真2. 同上のX線写真

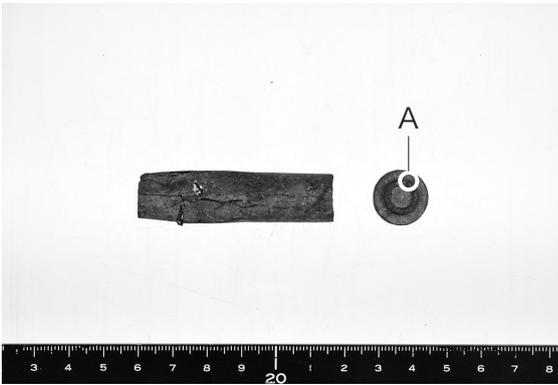


写真3. 薬莖

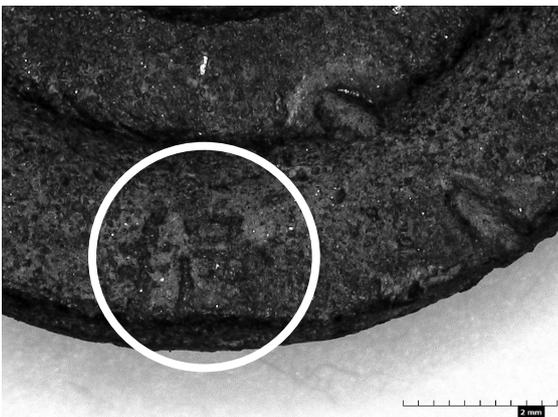


写真4. 同上のA部分拡大

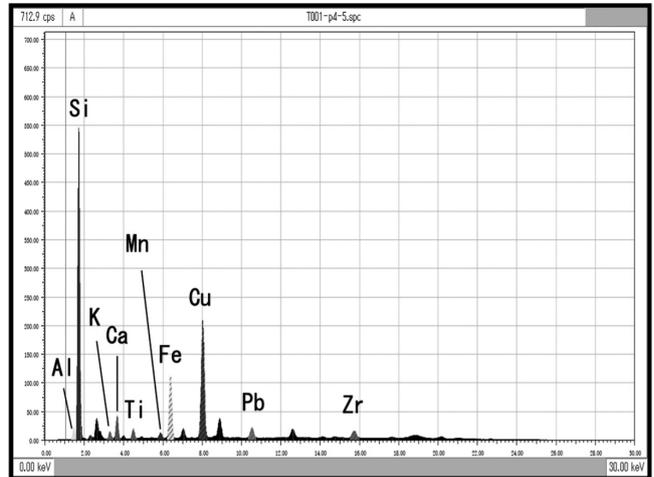


図1 スペクトル図

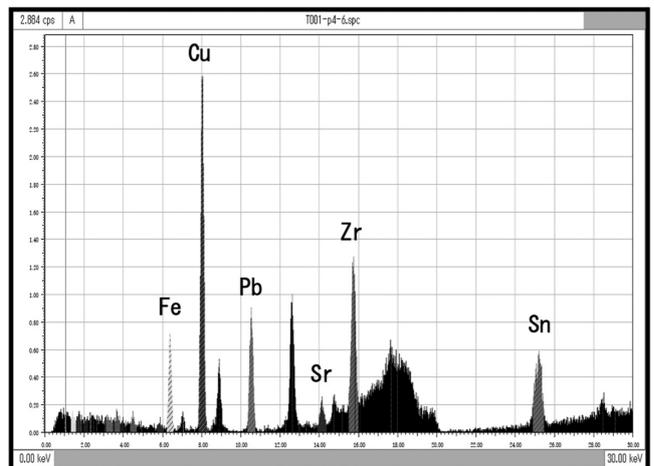


図2 スペクトル図  
(印加電圧 50kV で分析)

令和3（2021）年度保存処理金属製品一覧

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig
-------	-------	-----	----	----	--------

博多遺跡群第216次（調査番号：1723 市報1414集）

37266	整理中	小札	鉄	中世～近世	23-72
37267	整理中	袖	鉄	中世～近世	23-74
37268	整理中	鉗もしくは釘抜き	鉄	中世～近世	23-75
37269	整理中	包丁	鉄	中世～近世	23-76
37270	整理中	摘鎌	鉄	中世～近世	43-188
37271	整理中	工具（骨製柄）	鉄	中世～近世	43-194
37272	整理中	火打金	鉄	中世～近世	43-196
37273	整理中	鉗子状	鉄	中世～近世	61-335
37274	整理中	鎌もしくは工具	鉄	中世～近世	61-337
37275	整理中	鉗子状	鉄	中世～近世	61-339
37276	整理中	火打金	鉄	中世～近世	61-340
37277	整理中	小札	鉄	中世～近世	61-342
37278	整理中	包丁	鉄	中世～近世	未図化
37279	整理中	包丁	鉄	中世～近世	未図化
37280	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37281	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37282	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37283	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37284	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37285	整理中	小像	銅・青銅	中世～近世	23-73
37286	整理中	不明	銅・青銅	中世～近世	23-76
37287	整理中	小椀	銅・青銅	中世～近世	43-189
37288	整理中	小鏡	銅・青銅	中世～近世	43-192
37289	整理中	小型相輪塔	銅・青銅	中世～近世	61-336
37290	整理中	刀鐔	銅・青銅	中世～近世	61-338
37291	整理中	鐙飾り	銅・青銅	中世～近世	61-341
37292	整理中	鈴	銅・青銅	中世～近世	61-342
37293	整理中	未開敷蓮華	銅・青銅	中世～近世	43-191
37294	整理中	飾り	銅・青銅	中世～近世	43-193
37295	整理中	小型容器	銅・青銅	中世～近世	43-195
37296	整理中	小輪	銅・青銅	中世～近世	43-197
37297	整理中	環状	銅・青銅	中世～近世	43-198
37298	整理中	小匙	銅・青銅	中世～近世	43-199
37299	整理中	煙管・銅線	銅・青銅	中世～近世	未図化
37300	整理中	小仏像	銅・青銅	中世～近世	未図化
37301	整理中	煙管雁首、吸口、燭台	銅・青銅	中世～近世	未図化
37302	整理中	煙管雁首、脚、花形飾り	銅・青銅	中世～近世	未図化
37303	整理中	煙管雁首、杓子	銅・青銅	中世～近世	未図化
37304	整理中	飾り	銅・青銅	中世～近世	未図化
37305	整理中	小匙	銅・青銅	中世～近世	未図化
37306	整理中	不明	銅・青銅	中世～近世	未図化
37307	整理中	銅銭（洪武通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-77
37308	整理中	銅銭（寛永通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-78
37309	整理中	銅銭（宣徳通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-79
37310	整理中	銅銭（寛永通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-80
37311	整理中	銅銭（洪武通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-81
37312	整理中	銅銭（寛永通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-82
37313	整理中	銅銭（皇宋元寶）	銅・青銅	中世～近世	23-83
37314	整理中	銅銭（永樂通寶）	銅・青銅	中世～近世	23-84
37315	整理中	銅銭（永樂通寶）	銅・青銅	中世～近世	43-200
37316	整理中	銅銭（永樂通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37317	整理中	銅銭（至和元寶）	銅・青銅	中世～近世	43-201
37318	整理中	銅銭（朝鮮通寶）	銅・青銅	中世～近世	43-202
37319	整理中	銅銭（大中通寶）	銅・青銅	中世～近世	43-203
37320	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	43-204
37321	整理中	銅銭（唐國通寶）	銅・青銅	中世～近世	43-205
37322	整理中	銅銭（大元通寶）	銅・青銅	中世～近世	43-206
37323	整理中	銅銭（景定元寶）	銅・青銅	中世～近世	61-343
37324	整理中	銅銭（太平通寶）	銅・青銅	中世～近世	61-344
37325	整理中	銅銭（淳熙元寶）	銅・青銅	中世～近世	61-345
37326	整理中	銅銭（至大通寶）	銅・青銅	中世～近世	61-346
37327	整理中	銅銭（政和通寶）	銅・青銅	中世～近世	61-347
37328	整理中	銅銭（元符通寶）	銅・青銅	中世～近世	61-348
37329	整理中	銅銭（聖宗元寶）	銅・青銅	中世～近世	61-349
37330	整理中	銅銭（宣和通寶）	銅・青銅	中世～近世	61-350
37331	整理中	銅銭（嘉定通寶）	銅・青銅	中世～近世	61-351

博多遺跡群第221次（調査番号：1805 市報未刊行）

37332	整理中	飾金具？	不明		
37333	整理中	釘	鉄		
37334	整理中	不明	鉄		
37335	整理中	不明	鉄		
37336	整理中	棒状	銅・青銅		
37337	整理中	環状	銅・青銅		
37338	整理中	飾金具？	銅・青銅		
37339	整理中	飾金具	銅・青銅		
37340	整理中	棒状	銅・青銅		
37341	整理中	銅線	銅・青銅		
37342	整理中	銅銭（元豐通寶）	銅・青銅		
37343	整理中	銅銭（景徳元寶）	銅・青銅		
37344	整理中	銅銭（洪武通寶）	銅・青銅		
37345	整理中	銅銭	銅・青銅		
37346	整理中	銅銭	銅・青銅		
37347	整理中	銅銭（祥符通寶）	銅・青銅		
37348	整理中	銅銭（洪武通寶）	銅・青銅		
37349	整理中	銅銭（皇宋通寶）	銅・青銅		
37350	整理中	銅銭	銅・青銅		
37351	整理中	銅銭（政和通寶）	銅・青銅		

37352	整理中	銅銭	銅・青銅		
37353	整理中	銅銭（元口口寶）	銅・青銅		
37354	整理中	不明	銅・青銅		
37355	整理中	火縄銃弾丸	鉛		
37356	整理中	小玉	ガラス		
37357	整理中	小玉	ガラス？		
37358	整理中	管玉	石		
37359	整理中	不明	骨角		

箱崎遺跡第92次（調査番号：1830 市報1457集）

37360	整理中	板状	鉄	中世～近世	未図化
37361	整理中	板状	鉄	中世～近世	未図化
37362	整理中	板状	鉄	中世～近世	未図化
37363	整理中	円形	鉄	中世～近世	未図化
37364	整理中	円形	鉄	中世～近世	未図化
37365	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37366	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37367	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37368	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37369	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37370	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37371	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37372	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
37373	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37374	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37375	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37376	整理中	短刀	鉄	中世～近世	24-206
37377	整理中	銅銭（至道元寶）	銅・青銅	中世～近世	20-118
37378	整理中	銅銭（慶元通寶）	銅・青銅	中世～近世	20-119
37379	整理中	銅銭（紹定通寶）	銅・青銅	中世～近世	20-120
37380	整理中	銅銭（嘉泰通寶）	銅・青銅	中世～近世	20-121
37381	整理中	銅銭（景祐元寶）	銅・青銅	中世～近世	20-122
37382	整理中	銅銭（元祐通寶）	銅・青銅	中世～近世	20-123
37383	整理中	銅銭（宣和通寶）	銅・青銅	中世～近世	20-124
37384	整理中	銅銭（淳熙通寶）	銅・青銅	中世～近世	20-125
37385	整理中	銅銭（明道元寶）	銅・青銅	中世～近世	20-126
37386	整理中	銅銭（天聖元寶）	銅・青銅	中世～近世	34-207
37387	整理中	銅銭（祥符元寶）	銅・青銅	中世～近世	34-208
37388	整理中	銅銭（永樂通寶）	銅・青銅	中世～近世	53-356
37389	整理中	銅銭（祥符元寶）	銅・青銅	中世～近世	53-357
37390	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	53-358
37391	整理中	銅銭（永樂通寶）	銅・青銅	中世～近世	53-359
37392	整理中	銅銭（聖宗元寶）	銅・青銅	中世～近世	53-360
37393	整理中	銅銭（寛永通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37394	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37395	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37396	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37397	整理中	銅銭（寛永通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37398	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37399	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37400	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37401	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37402	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37403	整理中	銅銭（皇宋通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37404	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37405	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37406	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37407	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37408	整理中	銅銭（開元通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37409	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37410	整理中	銅銭（政和通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37411	整理中	銅銭（元祐通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37412	整理中	銅銭（開元通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37413	整理中	銅銭（大觀通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37414	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37415	整理中	銅銭（祥符元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37416	整理中	銅銭（永樂通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37417	整理中	銅銭（元豐通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37418	整理中	銅銭（元豐通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37419	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37420	整理中	銅銭（聖宗元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37421	整理中	銅銭（紹聖元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37422	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37423	整理中	銅銭（熙寧元寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37424	整理中	銅銭（寛永通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37425	整理中	銅銭（政和通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37426	整理中	銅銭（元豐通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37427	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37428	整理中	銅銭（大觀通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37429	整理中	銅銭（紹聖通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37430	整理中	銅銭（元豐通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37431	整理中	銅銭（皇宋通寶）	銅・青銅	中世～近世	未図化
37432	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37433	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37434	整理中	銅銭	銅・青銅	中世～近世	未図化
37435	整理中	棒状	ガラス	中世～近世	未図化
37436	整理中	不明	ガラス	中世～近世	未図化

博多遺跡群第224次（調査番号：1835 市報1448集）

37437	整理中	小刀	鉄	古代・中世	21-7
37438	整理中	釘隠し	銅・青銅	古代・中世	21-1
37439	整理中	釘隠し（菊花文鋳出）	銅・青銅	古代・中世	21-2

37440	整理中	釘隠し	銅・青銅	古代・中世	21-3
37441	整理中	和銅片、不明銅製品	銅・青銅	古代・中世	21-4、5
37442	整理中	不明銅製品	銅・青銅	古代・中世	21-6
37443	整理中	巻子軸先飾金具	銅・青銅	古代・中世	図版 3-SK08
37444	整理中	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37445	整理中	銅銭(□□元寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37446	整理中	銅銭(皇宋通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37447	整理中	銅銭(咸平通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	図版 3-10
37448	整理中	銅銭(元豐通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	図版 3-12
37449	整理中	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37450	整理中	銅銭(永樂通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37451	整理中	銅銭(嘉祐通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37452	整理中	銅銭(□□元寶 他)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37453	整理中	銅銭(政和通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37454	整理中	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37455	整理中	銅銭(開元通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37456	整理中	銅銭(咸平通寶 他)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37457	整理中	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37458	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化
37459	整理中	繡(政和通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37460	整理中	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37461	整理中	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37462	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化
37463	整理中	銅銭(至和元寶)	銅・青銅	古代・中世	図版 3-31
37464	整理中	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	古代・中世	図版 3-32
37465	整理中	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37466	整理中	銅銭(淳熙元寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37467	整理中	銅銭(□□元寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37468	整理中	銅銭?	銅・青銅	古代・中世	未図化
37469	整理中	銅銭(□元通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37470	整理中	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	古代・中世	図版 3-51
37471	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化
37472	整理中	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37473	整理中	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37474	整理中	銅銭(□□元寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37475	整理中	繡(元豐通寶)	銅・青銅	古代・中世	未図化
37476	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化
37477	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化
37478	整理中	銅銭	銅・青銅	古代・中世	未図化

箱崎遺跡第 96 次 (調査番号: 1924 市報 1458 集)

37479	整理中	釣針	鉄	中世	18-17
37480	整理中	釣針	鉄	中世	18-18
37481	整理中	輪状鉄製品	鉄	中世	18-20
37482	整理中	刀子	鉄	中世	未図化
37483	整理中	釣針	銅・青銅	中世	18-19
37484	整理中	飾金具	銅・青銅	中世	18-21
37485	整理中	ネジ状	銅・青銅	中世	未図化
37486	整理中	銅銭(元口通寶)	銅・青銅	中世	図版 5-1
37487	整理中	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	図版 5-2
37488	整理中	銅銭(景祐元寶)	銅・青銅	中世	図版 5-4
37489	整理中	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	図版 5-5
37490	整理中	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
37491	整理中	銅銭(天口口寶)	銅・青銅	中世	未図化
37492	整理中	銅銭(嘉口口寶)	銅・青銅	中世	未図化
37493	整理中	銅銭(口和口寶)	銅・青銅	中世	未図化
37494	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
37495	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
37496	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
37497	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
37498	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
37499	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
37500	整理中	銅銭	銅・青銅	中世	未図化

比恵遺跡第 155 次 (調査番号: 1953 市報 未刊行)

37501	整理中	鋤先	鉄		
-------	-----	----	---	--	--

クエゾノ遺跡第 5 次 (調査番号: 1950 市報 1440 集)

37502	整理中	袋状鉄弁	鉄	弥生~古墳	12-44
37503	整理中	刀子	鉄	弥生~古墳	12-45
37504	整理中	刀子	鉄	弥生~古墳	12-46
37505	整理中	刀子	鉄	弥生~古墳	12-47
37506	整理中	鉄鏃(短茎三角鏃)	鉄	弥生~古墳	12-48
37507	整理中	鉄鏃頭部	鉄	弥生~古墳	12-49
37508	整理中	鉄鏃茎部	鉄	弥生~古墳	12-50
37509	整理中	鉄鏃頭部~茎部	鉄	弥生~古墳	12-51
37510	整理中	鉸具	鉄	弥生~古墳	12-52
37511	整理中	鉸具	鉄	弥生~古墳	12-53
37512	整理中	鉸具	鉄	弥生~古墳	12-54
37513	整理中	帯金具	鉄	弥生~古墳	12-55
37514	整理中	不明鉄製品	鉄	弥生~古墳	12-56
37515	整理中	不明鉄製品	鉄	弥生~古墳	12-57
37516	整理中	不明鉄製品	鉄	弥生~古墳	12-58
37517	整理中	不明鉄製品	鉄	弥生~古墳	12-59
37518	整理中	不明鉄製品	鉄	弥生~古墳	12-60
37519	整理中	不明鉄製品	鉄	弥生~古墳	未図化
37520	整理中	金環	金	弥生~古墳	11-43

藤崎遺跡第 39 次 (調査番号: 1955 市報 1463 集)

37521	整理中	刺突具	鉄	弥生~古墳	11-17
37522	整理中	刺突具	鉄	弥生~古墳	11-18
37523	整理中	刀子	鉄	弥生~古墳	11-19
37524	整理中	刺突具	鉄	弥生~古墳	11-20
37525	整理中	釣針	鉄	弥生~古墳	11-21

37526	整理中	釣針	鉄	弥生~古墳	11-22
37527	整理中	釣針	鉄	弥生~古墳	11-23
37528	整理中	釣針?	鉄	弥生~古墳	11-24
37529	整理中	釣針未成品?	鉄	弥生~古墳	11-25
37530	整理中	不明	鉄	弥生~古墳	11-26

名子遺跡第 5 次 (調査番号: 1961 市報 1445 集)

37531	整理中	袋状鉄弁	鉄	縄文~奈良	51-151
37532	整理中	鏃	鉄	縄文~奈良	84-337
37533	整理中	鏃か	鉄	縄文~奈良	未図化

箱崎遺跡第 108 次 (調査番号: 2011 市報 1457 集)

37534	整理中	刀子	鉄	中世~近世	93-1
37535	整理中	刀子	鉄	中世~近世	93-2
37536	整理中	鋸先端	鉄	中世~近世	93-3
37537	整理中	鏃か	鉄	中世~近世	93-4
37538	整理中	鏃か	鉄	中世~近世	93-5
37539	整理中	釘か	鉄	中世~近世	未図化
37540	整理中	銅灰金具か	銅・青銅	中世~近世	93-6
37541	整理中	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世~近世	93-7
37542	整理中	繡	銅・青銅	中世~近世	93-8
37543	整理中	銅銭	銅・青銅	中世~近世	未図化
37544	整理中	銅銭	銅・青銅	中世~近世	未図化

山王遺跡第 16 次 (調査番号: 2016 市報 未刊行)

37545	整理中	鏡	銅・青銅		
-------	-----	---	------	--	--

那珂遺跡第 180 次 (調査番号: 2023 市報 未刊行)

37546	整理中	不明鉄製品	鉄		
-------	-----	-------	---	--	--

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

〔 昭和56年12月21日 〕  
〔 条例 第66条 〕

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者
- (2) センターの管理上支障があると認められる者(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

〔 昭和57年教規則第3号により 〕  
〔 昭和57年2月22日から施行 〕

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

〔 昭和57年1月25日 〕  
〔 教育委員会規則第4号 〕

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 削除

(平成24教規則2)

(職員)

第3条 センターに所長を置く。

- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。
- 3 所長は、職員のうちから命ずる。
- 4 所長は、上司の命を受けてセンターの事務を掌理し、及び処理する。
- 5 その他職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

(平成24教規則2・全改)

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、教育支援部長がその事務を行う。

(平成24教規則2・全改)

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合

には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
- (5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出し)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書を教育長に提出しなければならない。

2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書を交付して行う。

(令和2教規則22・一部改正)

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(申請書等の様式)

第10条 この規則の規定による申請又は許可に関し作成する申請書又は許可書の様式については、教育長が別に定める。

(令和2教規則22・追加)

(委任)

第11条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

(令和2教規則22・旧第10条繰下)

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

附 則(昭和61年3月31日教規則第2号)

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(平成3年3月28日教規則第7号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成4年3月30日教規則第3号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教規則第1号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月29日教規則第8号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年6月28日教規則第10号)

この規則は、平成19年7月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日教規則第2号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和2年8月6日教規則第22号)

この規則は、令和2年9月1日から施行する。

## 保存処理設備機器の外部使用許可基準

### 1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記の要件を満たすものであることを原則とする。

- (1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
- (2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

### 2. その他の使用基準

- (1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
- (2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。
- (3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
- (4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
- (5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
- (6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
- (7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合は、

使用者側の責任において原状回復すること。

### 3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別表一覧表のとおりとする。

### 4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙)\*主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式マイクローム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回折装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

## 埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取扱い要項

(目的)

第1 この要項は、福岡市埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次のとおりとする。なお、手数料については利用者が見やすいところに掲示

するものとする。

- (1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出しした領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

## 付2 令和3年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報報告一覧

- 第1438集 井尻B遺跡28：井尻B遺跡第45次調査報告（調査番号1957）
- 第1439集 井尻B遺跡29：井尻B遺跡第47次調査報告（調査番号2033）
- 第1440集 クエゾノ遺跡3：第5次調査報告（調査番号1950）
- 第1441集 田村20：第28次調査報告（調査番号1820）
- 第1442集 那珂84：那珂遺跡群第177・180次調査報告（調査番号1947・2003）
- 第1443集 那珂85：那珂遺跡第178次調査報告（調査番号1949）
- 第1444集 那珂86：那珂遺跡群第181次調査の報告（調査番号2004）
- 第1445集 名子遺跡2：名子遺跡第5次調査報告（調査番号1961）
- 第1446集 野芥遺跡7：野芥遺跡第18次調査報告（調査番号1964）
- 第1447集 野芥遺跡8：野芥遺跡第19次調査報告（調査番号1965）
- 第1448集 博多181：博多遺跡群第224次調査報告（調査番号1835）
- 第1449集 博多182：博多遺跡群第225次調査報告（調査番号1906）
- 第1450集 博多183：博多遺跡群第228次調査報告（調査番号1905）
- 第1451集 博多184：第231次調査報告（調査番号1915）
- 第1452集 博多185：博多遺跡群第234次調査報告（調査番号1937）
- 第1453集 博多186：博多遺跡群第235次・236次調査の報告（調査番号1938・1942）
- 第1454集 博多187：第238次調査報告（調査番号1958）
- 第1455集 博多188：博多遺跡群第242次調査報告（調査番号2017）
- 第1456集 博多189：博多遺跡群第243次調査報告（調査番号2018）
- 第1457集 箱崎64：第92次・第102次・第108次調査報告（調査番号1830・1940・2011）
- 第1458集 箱崎65：箱崎遺跡第96次調査報告（調査番号1924）
- 第1459集 箱崎66：箱崎遺跡第110次調査の報告（調査番号2024）
- 第1460集 比恵90：第157次調査報告（調査番号2035）
- 第1461集 東入部遺跡5：第13次調査報告（調査番号2002）
- 第1462集 福岡城下町3：福岡城下町遺跡第3次調査報告（調査番号1902）
- 第1463集 藤崎遺跡22：藤崎遺跡第39次調査報告（調査番号1955）
- 第1464集 麦野C遺跡11：麦野C遺跡第18次調査報告（調査番号1948）
- 第1465集 麦野C遺跡12：第19次調査の報告（調査番号2029）
- 第1466集 弥永原10：弥永原遺跡第18次調査の報告（調査番号2019）

福岡市埋蔵文化財年報VOL.35 令和2（2020）年度版

- 弥永原遺跡第17次調査（調査番号2005）
- 中村町遺跡第9次調査（調査番号2009）
- 中村町遺跡第10次調査（調査番号2010）
- 有田遺跡群第271次調査（調査番号2014）
- 那珂遺跡群第183次調査（調査番号2021）
- 麦野B遺跡第7次調査（調査番号2022）
- 山王遺跡第17次調査（調査番号2027）
- 麦野A遺跡第31次（調査番号2041）
- 鳥飼遺跡第1次（調査番号2047）
- 井相田E遺跡第2次（調査番号1963）
- 井尻B遺跡第46次（調査番号1966）
- 麦野A遺跡第30次（調査番号1969）

福岡市埋蔵文化財センター年報 第41号

2023（令和5）年2月10日

発行 福岡市教育委員会  
福岡市中央区天神1-8-1  
印刷 ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社  
福岡市東区松田3-9-32

# FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGICAL CENTER

## Annual Report

No.41  
2023



### 福岡市埋蔵文化財センター

所在地 〒812-0881 福岡市博多区井相田<sup>いそうだ</sup>2丁目1-94  
 電話 (092) 571-2921 FAX. (092) 571-2825  
 開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)  
 休館日 毎週月曜日・年末年始(12月28日～1月4日)  
 入館料 無料 (ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です)  
 交通手段 ■西鉄天神大牟田線<sup>ざっしよくま</sup> 雑餉隈駅から徒歩15分  
 ■JR鹿兒島本線 南福岡駅から徒歩25分  
 ■西鉄バス 博多バスターミナル12番のりばから  
 行先番号 41番のバスに乗車約30分  
 板付中学校前(埋蔵文化財センター前)下車すぐ  
 ホームページ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>